

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年5月30日から2028年2月21日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されている消費関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年2月20日および8月20日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

## 運用報告書（全体版）

# イーストスプリング・ インド消費関連ファンド

第27期（決算日 2022年2月21日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産額
23期 (2020年2月20日)	円 12,435	円 1,000	% 23.0	% 98.3	百万円 19,490
24期 (2020年8月20日)	10,199	0	△18.0	98.5	15,730
25期 (2021年2月22日)	13,782	1,000	44.9	98.0	18,525
26期 (2021年8月20日)	14,609	500	9.6	98.5	18,705
27期 (2022年2月21日)	15,428	800	11.1	96.2	18,847

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2021年8月20日	円 14,609	% —	% 98.5
8月末	15,061	3.1	96.8
9月末	16,021	9.7	98.5
10月末	16,816	15.1	97.5
11月末	16,182	10.8	98.2
12月末	16,081	10.1	98.4
2022年1月末	16,305	11.6	98.2
(期末) 2022年2月21日	16,228	11.1	96.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2021年8月21日～2022年2月21日)



第27期首	14,609円
第27期末	15,428円(既払分配金800円)
騰落率	11.1%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・投資対象ファンドを通じて保有する株式が上昇したこと。
- ・インドルピーが対円で上昇したこと。

### インド株式市場

期初から2021年10月半ばにかけてはマクロ経済指標が景気回復を示唆する内容であったことに加え、モディ政権による大規模インフラ計画の表明や資金不足に陥っている通信業界に対する改革・救済措置の発表、不良債権処理を目的として設立された国家資産再建会社への政府保証枠が閣議決定したことなどが好感され、インド株式市場は上昇基調で推移しました。11月から12月半ばにかけては欧州での新型コロナウイルス感染再拡大や変異株「オミクロン株」出現による景気失速懸念から株式市場は下落しましたが、その後は好調な経済指標の発表や緩和的な金融政策の継続などを背景に底堅い展開となりました。

### 為替市場

インドルピーは、原油などのエネルギー価格の上昇や米国の利上げ観測の高まりを背景に、2021年9月から12月半ばにかけて米ドルに対して下落基調を強めました。その後、米雇用統計で非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を下回ったことなどから2022年1月半ばに米ドルが一時下落する場面もありましたが、期末にかけては米国でインフレ懸念が高まり、再びルピーは米ドルに対して軟調な展開となりました。一方、米国のインフレ懸念の高まりを背景に日米長期金利差拡大などを受け、円安米ドル高となったことから、通期でルピーは円に対して上昇しました。

### 国内債券市場

期初から2021年10月半ばにかけては、欧米の長期金利上昇を受けて日本国債利回りも上昇（価格は下落）しましたが、12月半ばにかけては新型コロナウイルスの変異株の拡大懸念などから欧米の長期金利が低下し、日本国債利回りも連れて低下しました。しかし、年明け以降はエネルギー価格の高騰などから欧米各国でインフレ懸念が高まり、長期金利が大幅に上昇する中、日本国債利回りも上昇しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・コンシューマー・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インディア・コンシューマー・エクイティ

インドの消費関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。

当期は、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、映画館の営業が再開されるとの報道を受けて株価が大幅上昇した映画館運営会社イノックス・レジャーや、インフレの高まりによる長期金利の上昇を受けて利ざや拡大に対する期待から株価が上昇したインドステイト銀行などの保有がプラス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型Ⅰ (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第27期	
	2021年8月21日 ～2022年2月21日	
当期分配金	(円)	800
(対基準価額比率)	(%)	4.930
当期の収益	(円)	800
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,428

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・コンシューマー・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### インド・コンシューマー・エクイティ

インドでは、豊富な若年層を有する良好な人口動態、耐久消費財の低い普及率、急速な都市化などに支えられ、長期的に消費の拡大が続くことが期待されます。今後のインド株式市場は、新型コロナウイルスの感染状況、エネルギー価格の高騰によるインフレや金融政策の動向などに影響を受けると考えます。また、コロナ禍においてインドでもインターネットで飲食店のメニューを注文するデリバ

リーサービスへの需要が高まっています。このようなデジタル化に後押しされた消費需要は今後地方へ拡大することが期待されます。引き続き、債務が少なく持続性のあるビジネスモデルを有する企業の株式を選好し投資を行ってまいります。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

# 1 万口当たりの費用明細

(2021年8月21日～2022年2月21日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	110円	0.684%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、16,077円です。
( 投信会社)	( 45)	(0.279)	委託した資金の運用の対価
( 販売会社)	( 63)	(0.390)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
( 受託会社)	( 2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 保管費用)	( 0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監査費用)	( 1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印刷)	( 0)	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	111	0.692	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

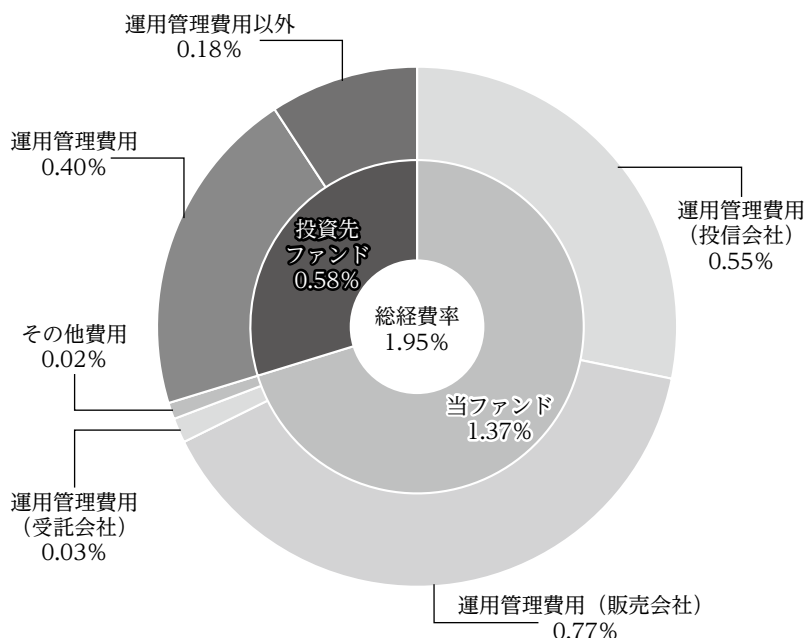
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.95%です。



総経費率 (①+②+③)	1.95%
①当ファンドの費用の比率	1.37%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



## 売買及び取引の状況

(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

### 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・インベスト メンツ・インディア・コンシューマー・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口	千米ドル	千口	千米ドル
			—	—	448	22,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

## 利害関係人との取引状況等

(2021年8月21日から2022年2月21日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2022年2月21日現在)

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 70,300	千口 70,300	千円 75,172	% 0.4
合 計	70,300	70,300	75,172	0.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・ コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド	千口 3,701	千口 3,253	千米ドル 156,902	千円 18,053,206	% 95.8
合 計	3,701	3,253	156,902	18,053,206	95.8

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## 投資信託財産の構成

(2022年2月21日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	75,172	0.4
投 資 証 券	18,053,206	90.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 ・ そ の 他	1,882,835	9.4
投 資 信 託 財 産 総 額	20,011,213	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(18,053,206千円)の投資信託財産総額(20,011,213千円)に対する比率は90.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2022年2月21日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.06円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年2月21日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	20,011,213,993円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,882,835,312
投資信託受益証券(評価額)	75,172,015
投資証券(評価額)	18,053,206,666
(B) 負 債	1,163,799,309
未払収益分配金	977,302,300
未払解約金	46,054,739
未払信託報酬	139,071,095
未払利息	5,415
その他未払費用	1,365,760
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	18,847,414,684
元 本	12,216,278,758
次期繰越損益金	6,631,135,926
(D) 受 益 権 総 口 数	12,216,278,758口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,428円

(注1) 元本の状況

期首元本額	12,803,945,005円
期中追加設定元本額	1,187,896,406円
期中一部解約元本額	1,775,562,653円

(注2) 1口当たり純資産額は1,5428円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## 損益の状況

当期(自2021年8月21日 至2022年2月21日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	543,716円
受 取 利 息	10
そ の 他 収 益 金	836,735
支 払 利 息	△ 293,029
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,953,509,221
売 買 益	2,161,664,430
売 買 損	△ 208,155,209
(C) 信 託 報 酬 等	△ 140,755,558
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,813,297,379
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,239,932,740
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,555,208,107
(配当等相当額)	( 3,047,946,041)
(売買損益相当額)	( 507,262,066)
(G) 計 (D+E+F)	7,608,438,226
(H) 収 益 分 配 金	△ 977,302,300
次期繰越損益金(G+H)	6,631,135,926
追加信託差損益金	3,555,208,107
(配当等相当額)	( 3,047,946,041)
(売買損益相当額)	( 507,262,066)
分配準備積立金	3,075,927,819

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(501,489円)、費用控除後の有価証券売買等損益(1,812,599,118円)、信託約款に規定する収益調整金(3,555,208,107円)および分配準備積立金(2,240,129,512円)より、分配対象収益は7,608,438,226円(10,000口当たり6,228円)であり、うち977,302,300円(10,000口当たり800円)を分配金額としております。

## 分配金のお知らせ

決 算 期	第 27 期
1 万口当たり分配金（税引前）	800円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

## お知らせ

該当事項はありません。

〈参考情報〉

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド	
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	インドの消費関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドの消費関連企業の株式	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	投資顧問会社	ICICI ブルーデンシャル・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド（略称：ICICIAM） <sup>※1</sup>
	管理会社	Vistra Alternative Investments (Mauritius) Limited
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.40%	
管理報酬	年率0.20%程度	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料、現地税務代理人費用等がかかります。	
設立日	2008年5月6日	
決算日	毎年8月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス（1-10年債） <sup>※2</sup>	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※1 ICICIAMは、ICICI銀行と世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社（以下「最終親会社」）との合弁会社です。

なお、最終親会社およびICICIAMは、主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2021年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

## 純損益及びその他包括利益計算書

2021年8月31日に終了した事業年度

米ドル

### 収益

受取配当金	1,125,712
投資上場有価証券の売却に係る実現純利益（損失）	40,834,126
派生商品の処分に係る実現純利益（損失）	761,637
投資上場有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）	47,706,350
外国為替取引に係る純利益（損失）	76,885
	<hr/>
	90,504,710
	<hr/>

### 費用

運用報酬	(666,271)
保管銀行費用	(76,210)
管理費用	(33,314)
計算事務費用	(58,063)
監査報酬	(43,906)
売買委託手数料	(604,548)
その他費用	(99,409)
	<hr/>
	(1,581,721)
	<hr/>

償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額	88,922,989
税金	(10,417,167)
償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額	<hr/>
	78,505,822
	<hr/>

## 投資有価証券明細表

2021年8月31日現在の上場有価証券

銘 柄	株 数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産 比率(%)
Affle (India) Limited	29,869	327,864	1,943,288	1.12%
Amber Enterprises India Limited	27,892	328,848	1,103,767	0.63%
Apollo Hospitals Enterprise Limited	25,123	925,921	1,706,683	0.98%
Asian Paints Limited	192,794	3,228,795	8,437,057	4.85%
Axis Bank Limited	1,653,236	12,309,541	17,774,520	10.22%
Bajaj Consumer Care Limited	600,695	2,034,983	2,018,778	1.16%
Bajaj Finserv Limited	31,409	2,772,963	7,362,933	4.23%
Barbeque Nation Hospitality Limited	244,027	1,782,342	3,718,935	2.14%
Bharti Airtel Limited	323,721	2,651,961	2,938,569	1.69%
Camlin Fine Sciences Limited	485,080	930,909	1,146,828	0.66%
Cartrade Tech Limited	95,880	2,003,261	1,950,928	1.12%
Chalet Hotels Limited	848,662	3,289,288	1,982,627	1.14%
Dabur India Limited	283,276	1,949,313	2,406,663	1.38%
Dixon Technologies India Limited	47,080	1,061,957	2,677,539	1.54%
Eicher Motors Limited	70,873	1,857,852	2,595,723	1.49%
Housing Development Finance Corporation Limited	255,146	5,008,775	5,515,626	3.17%
Hindustan Unilever Limited	215,053	6,223,935	8,008,162	4.60%
Home First Finance Company India Limited	289,548	2,051,086	2,258,680	1.30%
ICICI Bank Limited	1,420,706	7,383,377	13,964,572	8.03%
Indiamart InterMesh Limited	39,605	1,105,520	4,248,977	2.44%
Info Edge (India) Limited	35,396	771,744	2,991,383	1.72%
INOX Leisure Limited	1,260,857	5,177,851	5,330,155	3.06%
ITC Limited	1,740,076	4,061,037	5,026,110	2.89%
Kotak Mahindra Bank Limited	233,359	3,739,697	5,594,279	3.22%
Mahindra & Mahindra Limited	792,042	6,931,654	8,589,146	4.94%
Maruti Suzuki India Limited	60,675	6,047,541	5,678,287	3.26%
Motherson Sumi Systems Limited	1,019,141	1,712,464	3,045,431	1.75%
Narayana Hrudayalaya Ltd	488,943	3,058,421	3,612,920	2.08%
Nazara Technologies Limited	108,933	1,964,331	2,735,252	1.57%
Page Industries Limited	8,179	2,137,037	3,521,783	2.02%
PVR Limited	148,782	2,456,897	2,700,825	1.55%
Quess Corp Limited	338,030	2,900,522	3,913,146	2.25%
ROUTE MOBILE LIMITED	126,205	1,238,363	3,408,316	1.96%

銘 柄	株 数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産 比率(%)
Sandhar Technologies Limited	443,650	2,002,835	1,778,758	1.02%
Sona BLW Precision Forgings Limited	427,408	1,734,197	2,921,890	1.68%
State Bank of India	2,504,152	9,418,210	14,584,299	8.38%
Tata Chemicals Limited	444,324	2,000,151	1,745,017	1.00%
Titan Company Limited	191,404	2,024,981	5,027,804	2.89%
Vmart Retail Limited	61,140	1,469,536	3,003,485	1.73%
		<u>120,075,960</u>	<u>178,969,141</u>	<u>102.86%</u>
その他負債			(4,971,624)	-2.86%
純資産			<u>173,997,517</u>	<u>100.00%</u>

「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2020/2/26 ～2021/2/25		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.220%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,811円です。
（投信会社）	(15)	(0.143)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.234	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の明細

(2021年2月25日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	599,500	629,471	91.5	—	50.8	23.7	17.0	
合計	599,500	629,471	91.5	—	50.8	23.7	17.0	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。



(B) 個別銘柄開示  
 国内（邦貨建）公社債  
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第313回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第315回 利付国債（10年）	1.3	25,000	25,020	2021/03/20
	第351回 利付国債（10年）	1.2	20,000	20,080	2021/06/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	50,273	2028/06/20
	第354回 利付国債（10年）	0.1	59,000	59,212	2029/03/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	90,000	89,874	2030/06/20
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	40,721	2021/12/20
	第60回 利付国債（20年）	1.4	30,000	30,817	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	52,195	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	47,755	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	21,762	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	41,548	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	61,262	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	50,000	56,493	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	27,500	32,452	2030/03/20	
合 計			599,500	629,471	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。